



“ 堕ちた神の手”
地下大神殿

人類が踏破することの
できない高難度
ダンジョンの一つ

後もう少し…

もう少しで
最深部に
たどり着く…!

戻ってきましたよ
師匠…!

10年前…
幼く未熟だった俺は
ダンジョンに仕掛け
られた罠にかかり

大切な師匠を
石化の呪いによつて
失ってしまった…

逃げのびた俺は
師匠を救うために
死にものぐるいで
腕を磨いて…

待っていて
ください師匠!

絶対に救つて
みせますから!



師匠ー!!



師匠…
じゃない!?

馬鹿な…!
場所はここで
あっているはず…

なぜこんな師匠を
模した女の石像が…

ポ
ン





俺を
犯すなあ！

ここは汝の
精神世界

長い年月をかけた
世界を掌握された汝は
もはや私の支配からは
逃れられぬ

やめろおつ
俺は男だ！！

なんつ
なんだこれえつ

我は邪神の眷属
この迷宮の
意思そのもの

そして汝を支配し
邪神様の眷属へと
作り変える装置



こんなの認める
わけにはいかな...

お：俺は
人間っなんだっ

くそ...っ
離せえっ
離せろおつ



精神世界では
時間は無限に存在する

おっ♡

おっ♡

我が体内でじつくりと
その魂を墮落させよう
ではないか

おっ♡

ズッ



だれか…

はっ♡

たすけ…

オッ♡

ズッ

ンオ♡



アヒツこれ
すごい

こんなの知つたら
ダメになる♡

快樂とともに
人の心を
捨て去ると良い

アタマつ
バカになっちゃう

ズッ

ズッ

イクッ♡

ぐく

イツちやうっ♡

ほっ♡

はっ♡

オマンコ
イクうっ♡

ぐく

支配されるのって
こんな感じで
いいなんて
知らなかったあっ♡

邪神様の支配で
メスになるうっ♡

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ

オマンコ支配されて
バカになっちやうっ♡

トリ
チュ

トリ
チュ

トリ
チュ

人間なんて
やめて当然ですっ

こんな幸せ知つたら
人間なんて滅んで当然の
害虫としか思えまんっ♡

眷属に選んで頂いて
本当に感謝しておりますっ♡

この身はすべて
邪神様にい♡

捧げますっ♡♡

ドモ

はー
ぐ

ドモ

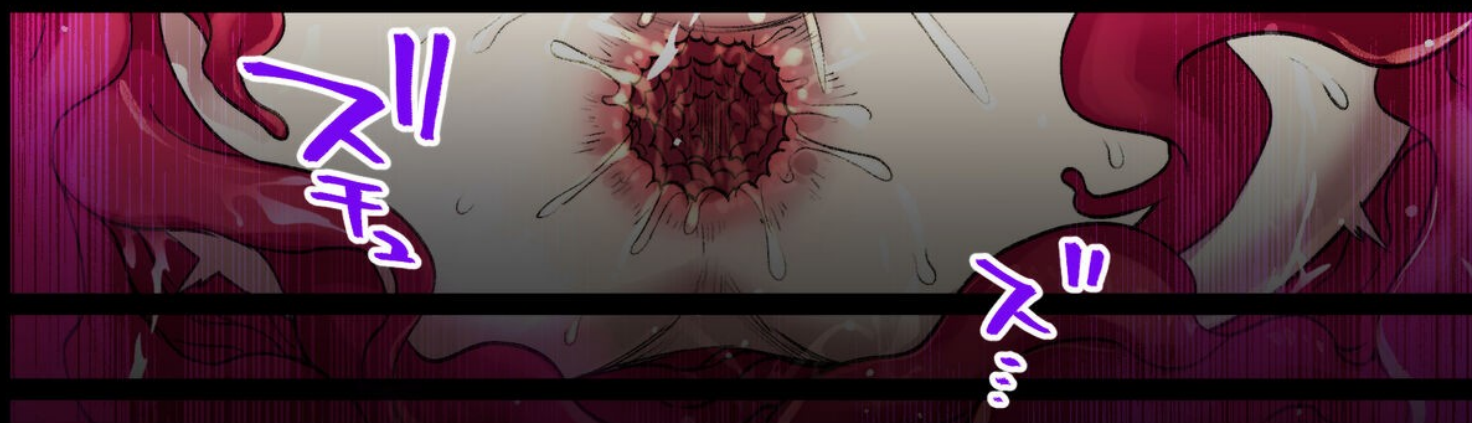
ドモ

ぐ

ぐ

ドモ

ーハヤ





—はあっ♡

なっ

石化が…!?

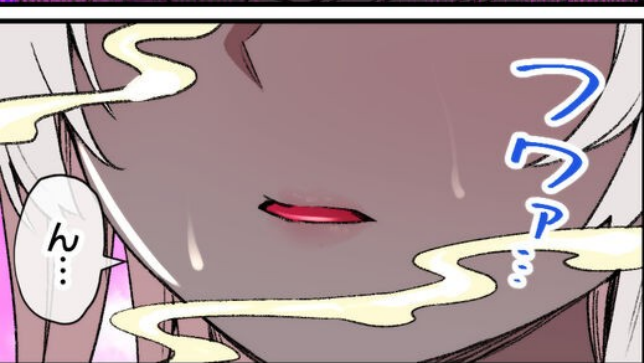
あ…



ああ…変わるっ
変わっちやうっ♡

生まれ変わって
イクッ…

イツちやう…っ♡



ん…



この匂いは…

ああ…そうか…
戻ってきたのか…

これが
淫魔の肉体…

素晴らしい…♡



人が…魔物に
変化しただど!?

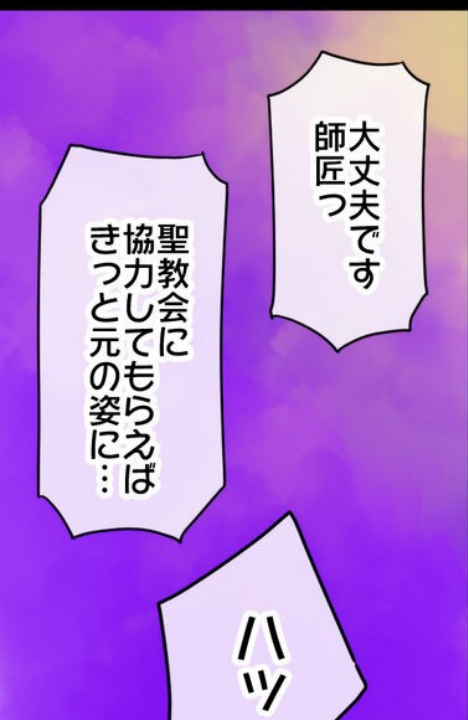
な…なんだ
これは…

イクグううっ♡♡



—よう
バカ弟子

ちようどいい
ところに来たな



大丈夫です
師匠

聖教会に
協力してもらえば
きつと元の姿に…

ハッ



し…師匠
なんですか…?

戸惑うのも
無理はない

こんな姿に
なつて驚いた
だろ?

ここに石像として
放置されてる間に
魔力に染まつて
身体が変化しちまつた



馬鹿を
言うな

ニヤ



俺は生まれ
変わったんだよ

口でもマンコでも
ケツの穴でも好きなら
男の精を搾り取れる

邪神様に従つて
男を漁り人を墮落させる
淫らな存在に

今の「私」は
邪神様の眷属

淫魔にしてこの領域を
守護するガーゴイルよ♡

愚かにも人類のために
邪神様の領域を侵すだなんて

この世界を統べるのは
我ら闇の種族こそが
ふさわしい♡

貴方は…もう…

かつての私は
なんて愚かなことを
考えていたのかしら

師匠…





くっくっく
師匠…っ

もうっ
やめてくれえ

遠慮しないで
大好きな師匠の
オマンコもつと
味わっていいのよ？

ふふっ

はぁっ
アナタの童貞精液
本当に美味しい♡

でもこれ以上
吸い取ったら
死んじゃうわね♡



何を…



んがぁあっ
アツいい

身体がつ

ガーゴイルになった
今でもアナタは私の
可愛い弟子だもの♡



だから
これはお礼♡

！



愚か者ども…



邪神様の支配する
領域へ土足で
踏み込むなんて…

本当に人間は
害悪な存在ね♡

ええ
お姉さま

愚かな人間どもにはあ
私たちの手でたっぷり
罰を与えまじよう♡



私たちがゴイルが
貴方たちの相手をしてあげる

“ 堕ちた神の手”
地下大神殿

人類が踏破することの
できない高難度
ダンジョンの一つ

後もう少し…

もう少しで
最深部に
たどり着く…!

戻ってきましたよ
師匠…!

10年前…
幼く未熟だった俺は
ダンジョンに仕掛け
られた罠にかかり

大切な師匠を
石化の呪いによつて
失ってしまった…

逃げのびた俺は
師匠を救うために
死にものぐるいで
腕を磨いて…

待っていて
ください師匠!

絶対に救つて
みせますから!



師匠ー!!



師匠…
じゃない!?

馬鹿な…!
場所はここで
あっているはず…

なぜこんな師匠を
模した女の石像が…

ポ
ン







精神世界では
時間は無限に存在する

おっ♡

おっ♡

我が体内でじつくりと
その魂を墮落させよう
ではないか

おっ♡

ズ
ム
ム



はっ♡

だれか…

たすけ…

オッ♡

ズ
ム
ム

ンオ♡



アヒツこれ
すごい

こんなの知つたら
ダメになる♡

快樂とともに
人の心を
捨て去ると良い

アタマつ
バカになっちゃう

おっ♡

ズ
ム
ム

イクッ♡

ぐく

イツちやうっ♡

ほっ♡

オマンコ
イクうっ♡

はっ♡

ぐく

支配されるのって
こんなになんて
いいなあって
知らなかったあっ♡

邪神様の支配で
メスになるうっ♡

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ

オマンコ支配されて
バカになっちやうっ♡♡

ぐく

トリ
チュ

トリ
チュ

トリ
チュ

人間なんて
やめて当然ですっ

こんな幸せ知つたら
人間なんて滅んで当然の
害虫としか思えまんっ♡

眷属に選んで頂いて
本当に感謝しておりますっ♡

この身はすべて
邪神様にい♡

捧げますっ♡♡

ドモ

はー
ぐ

ドモ

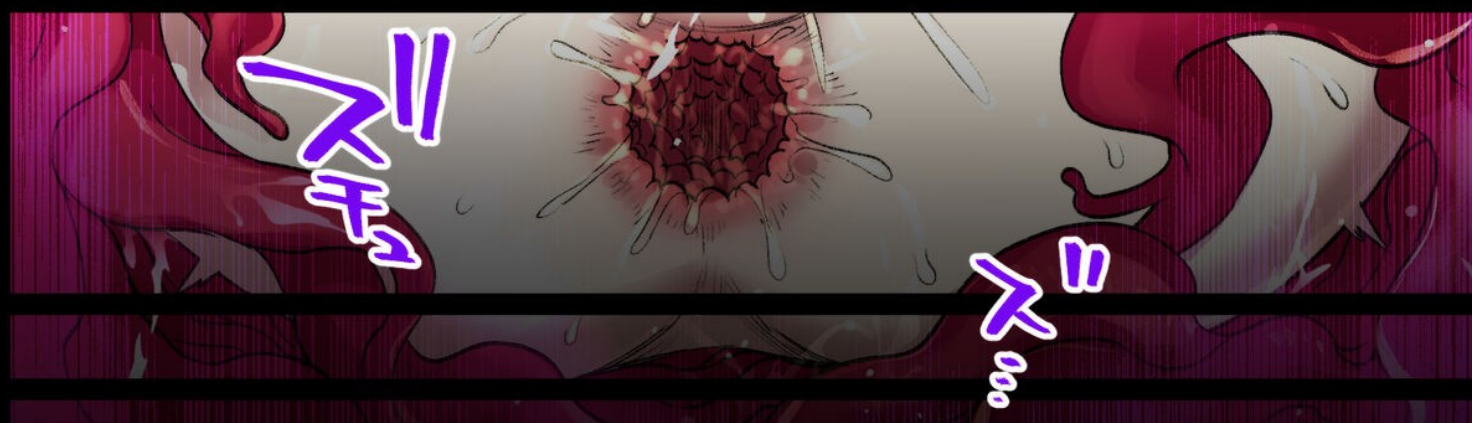
ドモ

ぐ

ぐ

ドモ

ーハヤ





—はあっ♡

なっ

石化が…!?

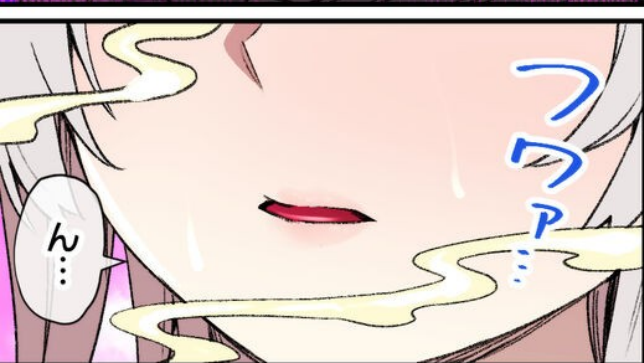
あ…



ああ…変わるっ
変わっちやうっ♡

生まれ変わって
イクッ…

イツちやう…っ♡



ん…



この匂いは…

ああ…そうか…
戻ってきたのか…

これが
淫魔の肉体…

素晴らしい…♡



人が…魔物に
変化しただど!?

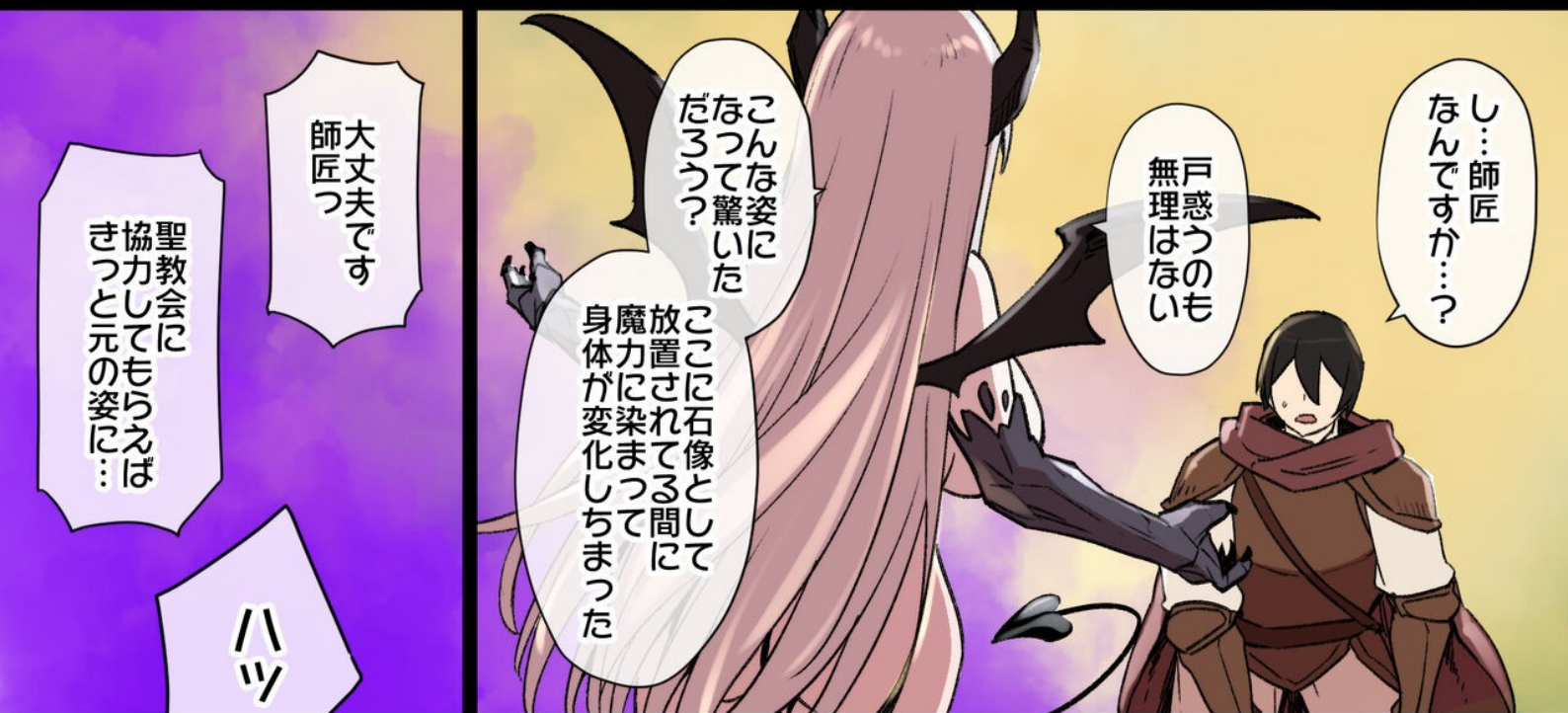
な…なんだ
これは…

イクグううっ♡♡



—よお
バカ弟子

ちようどいい
ところに来たな



し…師匠
なんですか…?

戸惑うのも
無理はない

こんな姿に
なつて驚いた
だろう?

ここに石像として
放置されてる間に
魔力に染まって
身体が変化しちまった

大丈夫です
師匠っ

聖教会に
協力してもらえば
きつと元の姿に…

ハッ



馬鹿を
言うな



俺は生まれ
変わったんだよ

口でもマンコでも
クツの穴でも好きなら
男の精を搾り取れる

邪神様に従つて
男を漁り人を墮落させる
淫らな存在にっ

今の「私」は
邪神様の眷属

淫魔にしてこの領域を
守護するガーゴイルよ♡

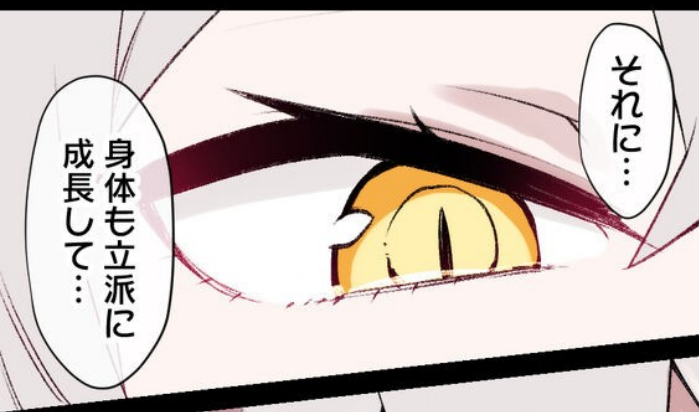
愚かにも人類のために
邪神様の領域を侵すだなんて

かつての私は
なんて愚かなことを
考えていたのかしら

この世界を統べるのは
我ら闇の種族こそが
ふさわしい♡

師匠…

貴方は…もう…





はぁっ

アタタの童貞精液
本当に美味しい♡

ふふっ

遠慮しないで
大好きな師匠の
オマンコもつと
味わっていいのよ?

もうっ
やめてくれえ

くっくっ
師匠…っ

でもこれ以上
吸い取つたら
死んじゃうわね♡



何を…

身体がつ

んがああっ
アッいい

ガーゴイルになった
今でもアタタは私の
可愛い弟子だもの♡



だから
これはお礼♡

じゅる

!



俺は魔物に
なりたいくない...

いやだ...
やめてくれ...

あは

—だから
貴女も邪神様の
眷属にしてあげる♥

ひいっ

身体が...

師匠の私が
保証してあげる♥

いやだ
あああ

貴女もすぐに
邪神様に支配される
喜びを理解できる
ようになるわ♥

安心しなさい

110キ



そんなこと考えてる
暇があつたら落ちてる
財宝一つたいとも見逃すなよ

なんせ未盗掘の
ダンジョンだからな
価値のあるアイテムが
どれだけ眠ってるか



ここを踏破すれば
俺たちも英雄として
名を残せるな

ばーか
英雄で腹が
膨れるかよ

ここが
最深部か...

かつて誰も
攻略出来た者は
居ないという...

ザッ

